

# 令和4年6月28～30日の低気圧に伴う 降雨による後志利別川の出水概要(速報版)

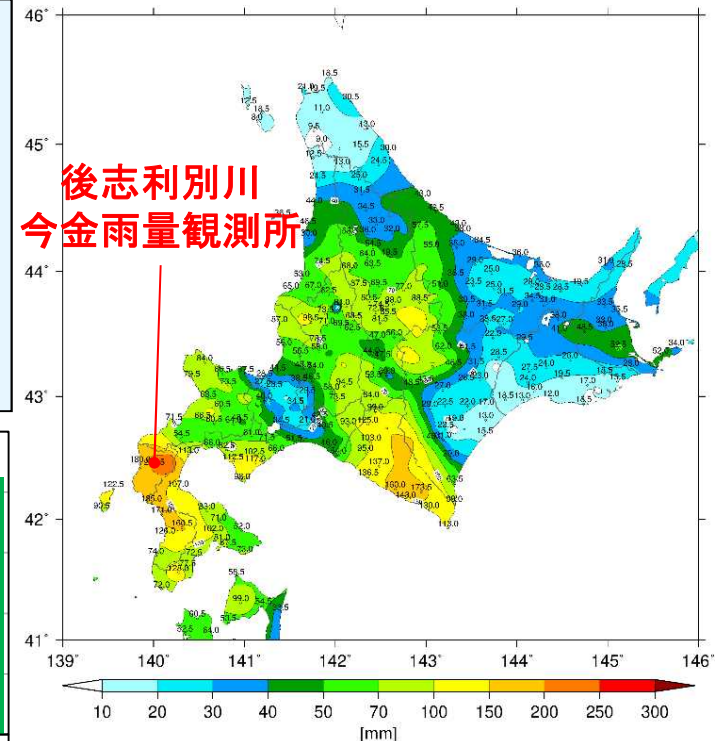
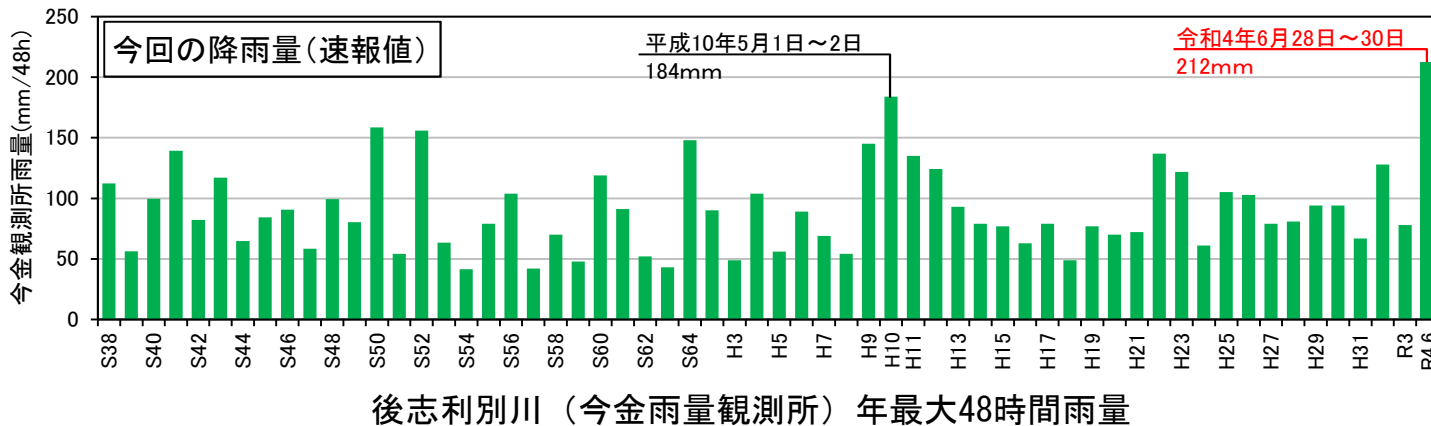
※本速報に記載されている数値や図表は、令和4年7月19日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

令和4年7月19日  
国土交通省北海道開発局  
函館開発建設部

しりべしとしべつ  
令和4年6月29日後志利別川における出水概要

令和4年6月28日から30日にかけて、低気圧および前線の停滞により、後志利別川の流域では大雨となりました。今金雨量観測所での48時間の降水量（6月28日9時～6月30日8時）は、観測史上第1位となる212mmを観測しました。

この降雨により、今金水位観測所をはじめ、下流の観測所すべてで「氾濫注意水位」を超過しましたが、これまで進めてきた河川整備や美利河ダムによる洪水調節によって水位低下を図り、今回の出水では、各所で局所的な内水浸水被害が発生したものの、外水氾濫による被害は発生しませんでした。



観測所	河口	大富	今金	住吉	花石
観測最高水位	1.56m	7.26m	13.31m	27.35m	62.53m
氾濫注意水位	1.50m	7.20m	12.90m	28.00m	63.00m



今金水位観測所（KP16.1付近）の状況

※速報のため、数値等は変わる可能性があります



# 後志利別川の出水状況・浸水状況

後志利別川では、低気圧および前線による大雨の影響により、農地等の約65haの内水氾濫が発生しました。





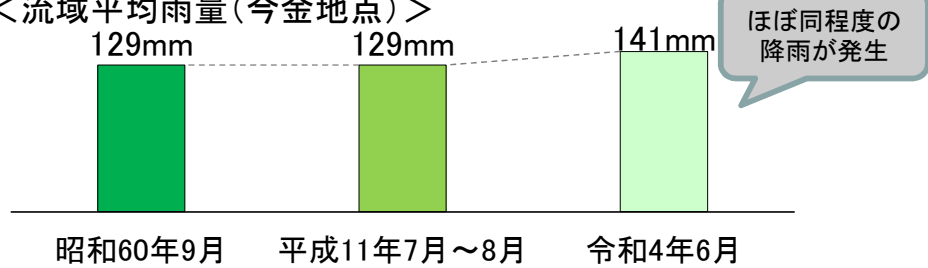
# 治水事業の効果（後志利別川）

後志利別川では、**築堤、河道掘削等を順次進め、平成3年に美利河ダムを整備**しています。  
 令和4年6月の低気圧および前線による大雨では、昭和60年9月や平成11年7月～8月と同規模の降雨を記録しましたが、後志利別川流域において**浸水被害等は大幅に減少**しました。

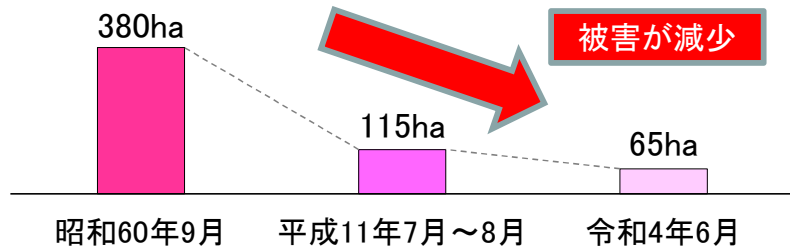
## 同程度の降雨（24時間雨量）が発生した出水について

発生年月	流域平均雨量 今金地点 (mm/24H)	氾濫面積 (ha)	被害家屋数 (戸)
昭和60年9月	129	380	111
平成11年7月～8月	129	115	28
令和4年6月	141	65	0

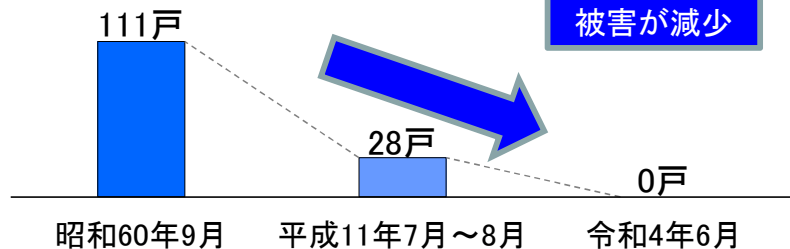
### <流域平均雨量（今金地点）>



### <氾濫面積>



### <被害家屋>



## 平成11年7月～8月出水

低気圧および前線の停滞による大雨の影響により、後志利別川が内水氾濫し、家屋の床上・床下浸水、田畑の冠水等の大きな被害を受けました。

平成11年当時の浸水範囲



河川の整備により浸水による被害が大幅に減少

## 今回（令和4年6月）の出水

今回の浸水範囲

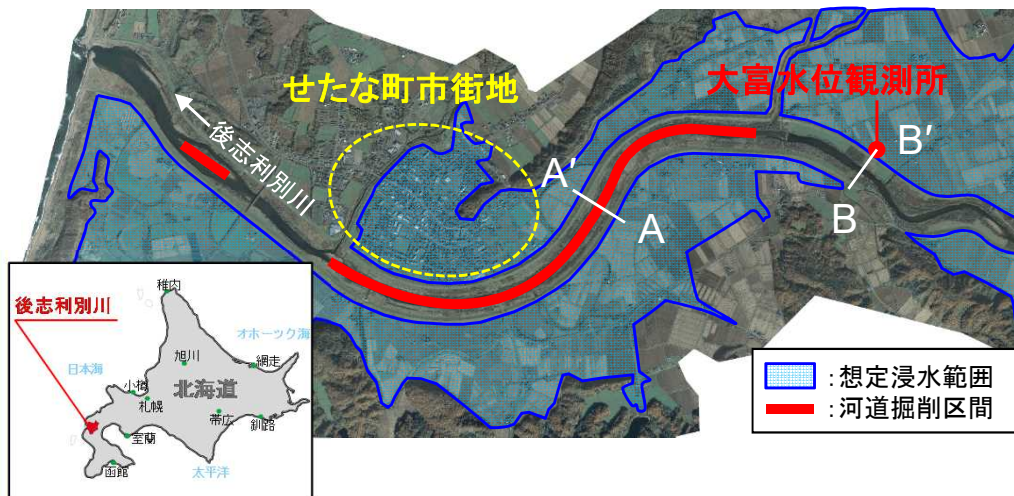




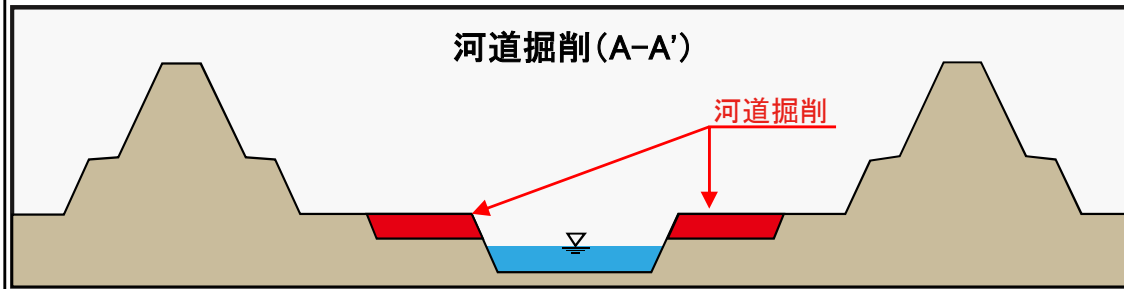
# 洪水に対し河川整備[河道掘削]が効果を発揮(北海道 後志利別川)(国管理)

- 令和4年6月29日、低気圧および前線の停滞による豪雨により後志利別川流域において出水が発生。
- 平成19年度策定の現行整備計画に基づく河川整備(河道掘削)によって、約0.5mの水位低減効果を果たし、洪水があふれる危険性を低下させました。

## 掘削による水位低減効果(大富水位観測所)

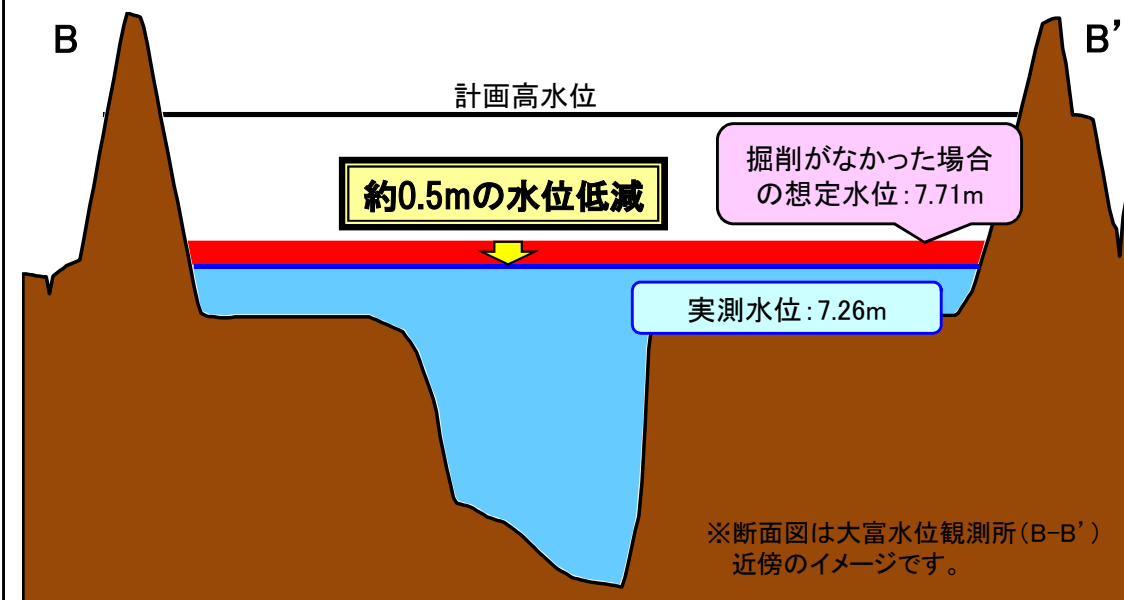


## ■ 整備概要



## ■ 水位低減効果 (イメージ図)

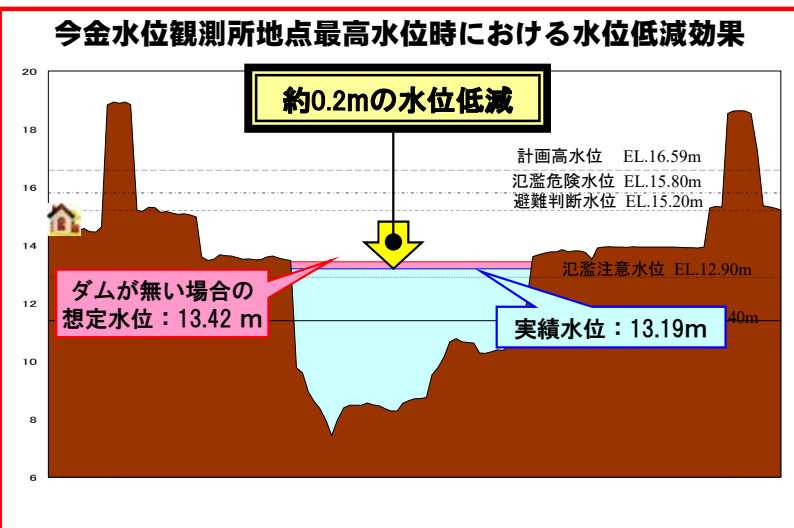
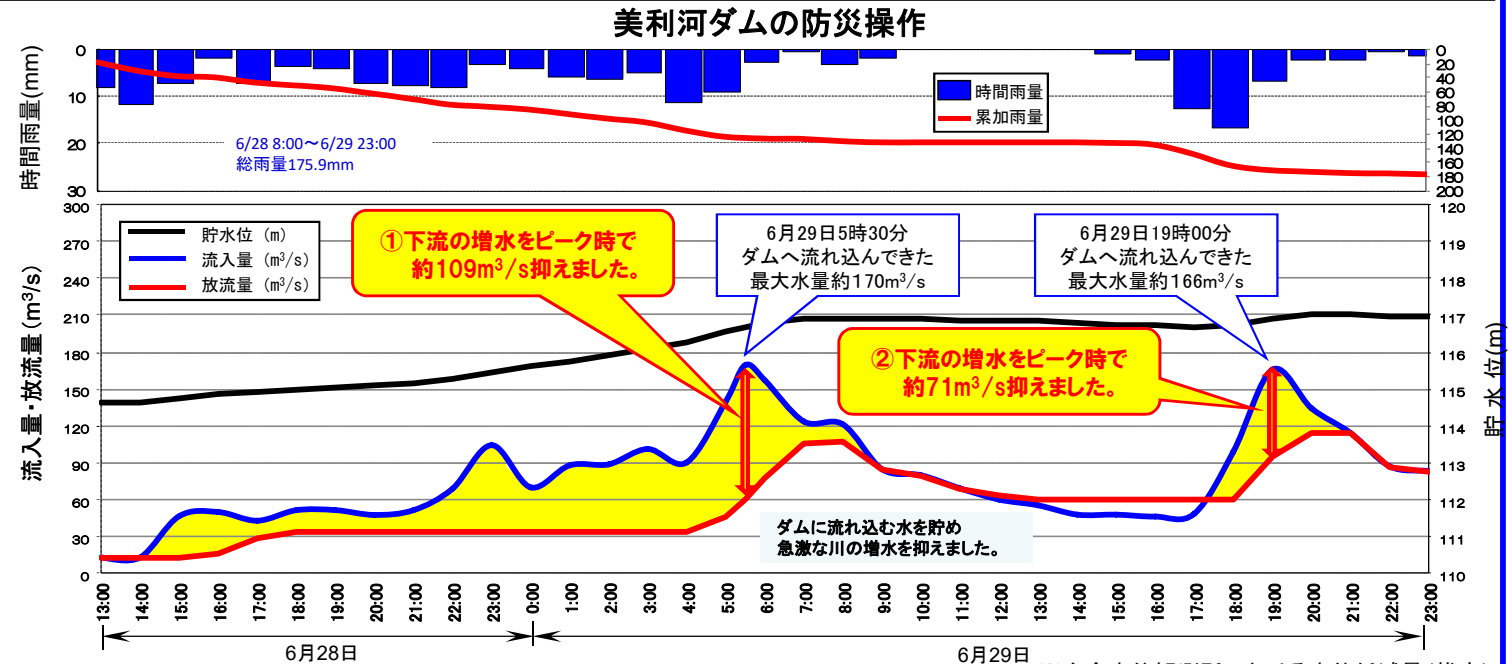
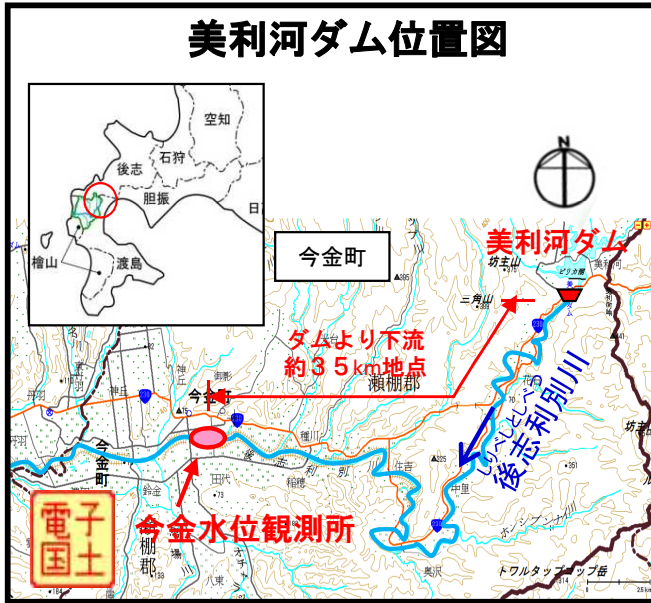
- 平成19年度からの河道掘削事業により、水位を約50cm低下させたものと推定され、外水氾濫のリスクを低下させることができました。



※実測水位は大富水位観測所で観測された水位。  
※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

# 洪水に対しダム整備が効果を発揮(北海道 美利河ダム)(国管理)

- 令和4年6月29日、前線を伴った低気圧による豪雨により、美利河ダムにおいては、2回の洪水量を超える流入量を観測。
- 美利河ダムの防災操作によって、下流河川の水位低減を図り、下流の今金町付近(今金水位観測所)では、最高水位時において0.2mの水位低減効果を発揮し、氾濫注意水位程度に抑制したものと推測されます。



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

貯水位(m)



# 排水機場が効果を発揮(北海道 北檜山排水機場)(国管理)

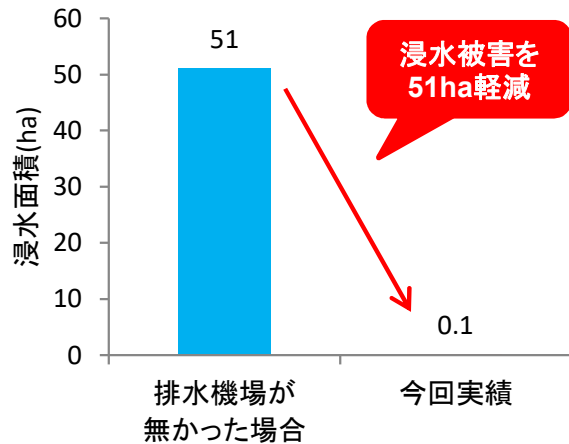
- 令和4年6月29日、低気圧および前線の停滞による豪雨により後志利別川流域において出水が発生。
- 北檜山排水機場は約31時間稼働し、約36万 $m^3$ の内水排除を実施。
- 仮に排水機場がなかった場合、約51haの浸水が想定され、排水機場の稼働により99%以上(約51ha)の浸水被害を軽減したと想定されます。



排水機場がなかった場合の想定される浸水範囲(令和4年6月出水)



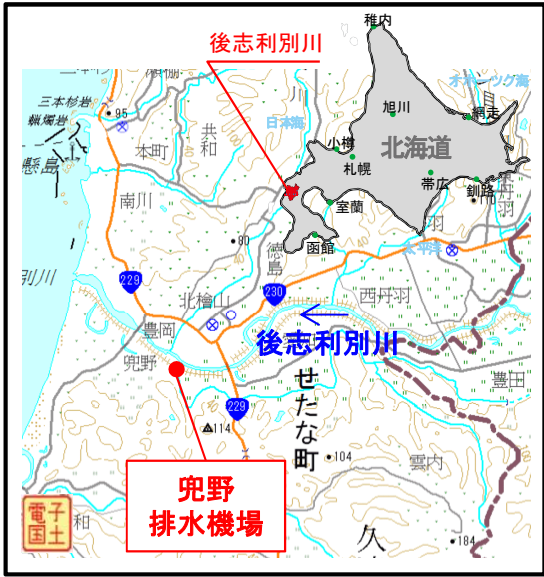
浸水想定面積 (ha)



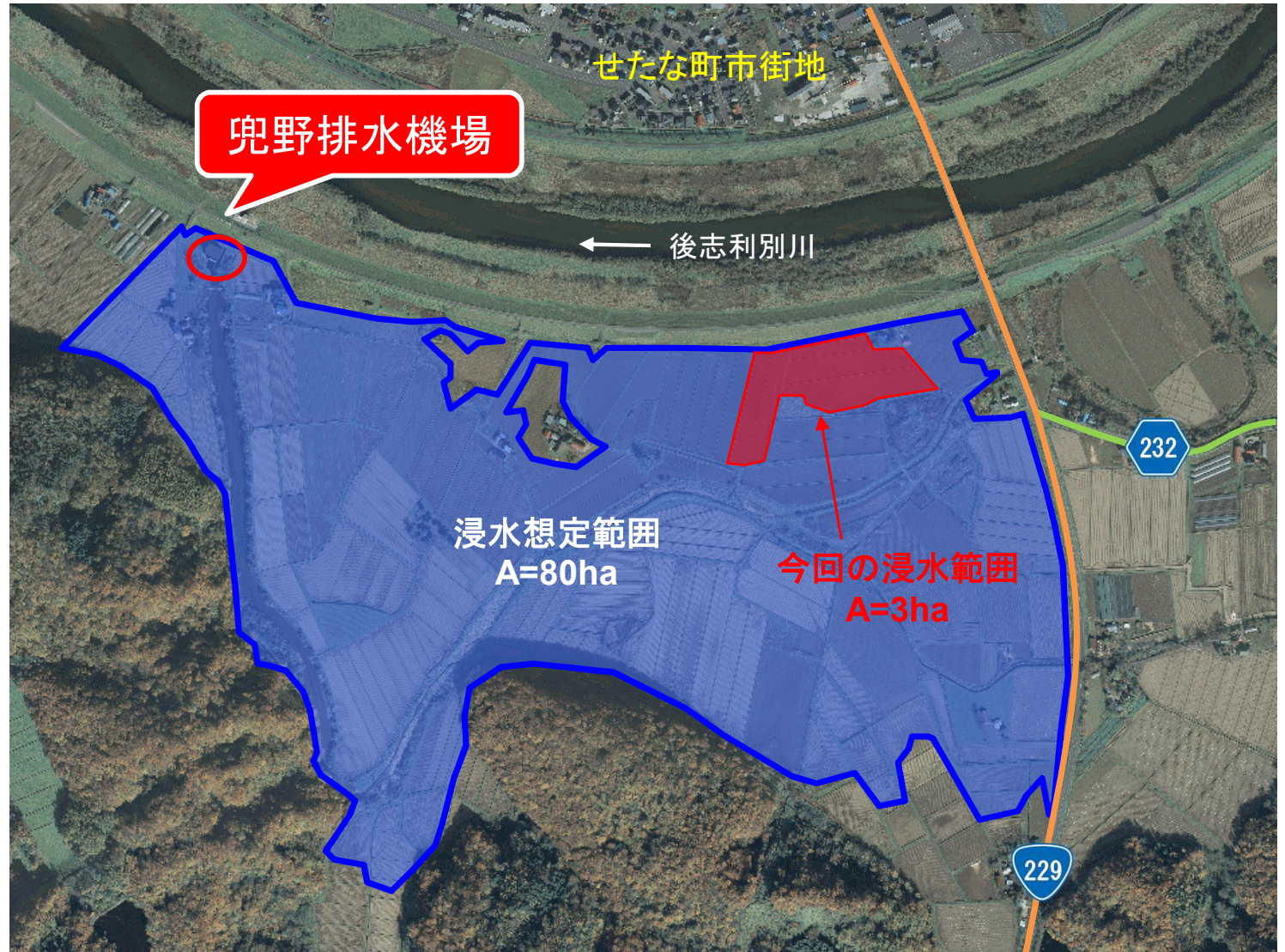


# 排水機場が効果を発揮(北海道 兜野排水機場)(国管理)

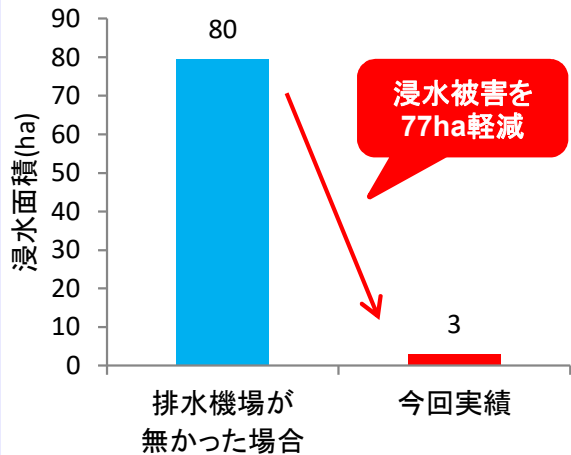
- 令和4年6月29日、低気圧および前線の停滞による豪雨により後志利別川流域において出水が発生。
- 兜野排水機場は約47時間稼働し、約99万 $m^3$ の内水排除を実施。
- 仮に排水機場がなかった場合、約80haの浸水が想定され、排水機場の稼働により96%以上(約77ha)の浸水被害を軽減したと想定されます。



排水機場がなかった場合の想定される浸水範囲(令和4年6月出水)



浸水想定面積 (ha)





## 函館開発建設部・地域自治体の取組

開 建 ) 地域の迅速かつ的確な水防活動のため、定期的な**水位予測などを実施し、情報提供**を行ったほか、水位状況の監視を行い、樋門や排水機場などの**河川管理施設の的確な操作**を行いました。

開 建 ) 浸水被害を軽減するため、せたな町、今金町からの要請により**排水ポンプ車を派遣**しました。

自治体 ) 市街地や農地など内水氾濫リスクのある箇所への**排水ポンプの設置・排水作業を実施**し、被害を最小限に食い止める活動を行いました。

開 建 ) 堤防などの管理施設の状況や氾濫被害の発生状況確認のため、**河川巡視及び監視による現地調査**を行いました。

開建) 河川管理施設操作状況(ダム操作)



開建) 排水ポンプ車による支援 ①



自治体) 市街地内水排除状況(今金町)



開建) 河川巡視状況



開建) 排水ポンプ車による支援 ②



自治体) 農地内排水ポンプ設置状況(せたな町)

